

大湾区情報 No. 70

グレーターベイエリア情報 発行：2023年11月7日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【広東省、国内外から大手リース企業の大湾區本部設立を積極的に誘致】](#)

[【大湾區、世界トップクラスの科学技術イノベーション・エコシステムにランクイン】](#)

【広東省、国内外から大手リース企業の大湾區本部設立を積極的に誘致】



10月19日、広東省は「製造業の質の高い発展を支えるファイナンスリースの積極的発展に関する指導意見」（以下「意見」）を発表しました。

意見では、広東省のファイナンスリース業界の発展目標を明確にし、横琴、前海、南沙を大湾區の中国本土におけるクラスターとして提案し、香港、マカオとの連携の足掛かりを構築し、全国にサービスを提供し、全世界まで広がるファイナンスリース業界の発展における重要なポジションへと推進することを提案しました。2027年までに、広東省は数百億人民元レベルから、数千億人民元レベルの

専門的かつ特徴的なファイナンスリース会社のクラスタ形成を促進し、リース資産規模は 1.5 兆人民元以上に達する見込みです。

同時に意見では横琴、前海、南沙が三大重要プラットフォーム構築の政策的利点を十分に発揮できるとされています。金融リースクラスタの構築を支持し、主要工業都市、沿岸都市、広東省東部、西部、北部等地域で、それぞれの産業の特徴を生かしたファイナンスリースの発展を支持します。香港とマカオと連携しクロスボーダーでの協力を深め、クロスボーダリース資産取引を模索し、大湾区国際ファイナンスリースセンターを共同建設します。

その他、意見によると、リース企業と製造企業間の協力を強化し、産業用工作機械及び最初に導入する主要生産設備の工業化と応用の推進を支援し、ファイナンスリースサービスが広東省において比較的優位性の高いヘリコプター、船舶、自動車等製造業の加速発展を推進します。

大湾区でのファイナンスリースクラスタ構築支援

意見では、ファイナンスリースクラスタの構築について、横琴とマカオではファイナンスリース業の共同発展の支援により、クロスボーダーの資金の自由な流れ及びリース資産取引を活性化させ、前海と香港では航空機、船舶、海洋工学設備、鉱山設備などのファイナンスリースの共同発展を支援し、南沙においては中国国内における航空機ファイナンスリースの発展支援を明確にしています。同時に、大湾区を拠点とし、全国にサービスを提供し、グローバルに展開する高レベルのファイナンスリース企業 1-2 社を生み出すことを提案しています。

「大湾区の戦略的レイアウトの下で、ファイナンスリースの発展は外資導入の新たな原動力となり、大湾区の経済統合と発展促進において大きな意義があります」と述べられた広東金融学院の易行健副院長は、ファイナンスリースを通じて外資を誘致したり、国内外のファイナンスリースなどの機能本部を導入したりすることで、大湾区の資本効率を向上させることができると考えています。

広東省、香港、マカオ経済研究会会長任志宏氏は、大湾区では、ファイナンスリースサービスは、中国外の低コストの資本をよりよく活用し、リース物件の金

融・産業をつなげるパイプラインの利点を活かし、重点分野への導入を実現し、中国の製造業のレベルを向上させることが可能である、またその他の融資方式と比較し、ファイナンスリースは、比較的要件がシンプルで、手続きもスピーディー、調達コストも低い等、現在の国際金融市場や中国国内金融市場において裁定取引の空間が存在するなど独特な利点が存在する可能性がある、と言ったことから、ファイナンスリースが企業に流動資金を提供することで、既存の融資に代えて、資金調達コストを削減することができると考えています。

「国際的な先進金融市場におけるファイナンスリース市場の普及率は20%～30%の水準に達しているが、中国ではわずか10%未満に過ぎない」任志宏氏は、ファイナンスリース産業は大湾区の先進的製造業、特にハイテク産業を深く統合することができ、精密設備、産業用ロボット、主要部品、新素材など、大湾区で現在突破口を開くことが急務となっている主要分野を中心に、大湾区の産業チェーンにおける弱点を金融手段を通じて強化すると述べました。

ファイナンスリースは、製造企業の技術革新と設備更新を促進し、産業のアップグレードを推進し、製品販売を促進し、市場主体の資金面の負担を緩和する上で重要な役割を持っています。

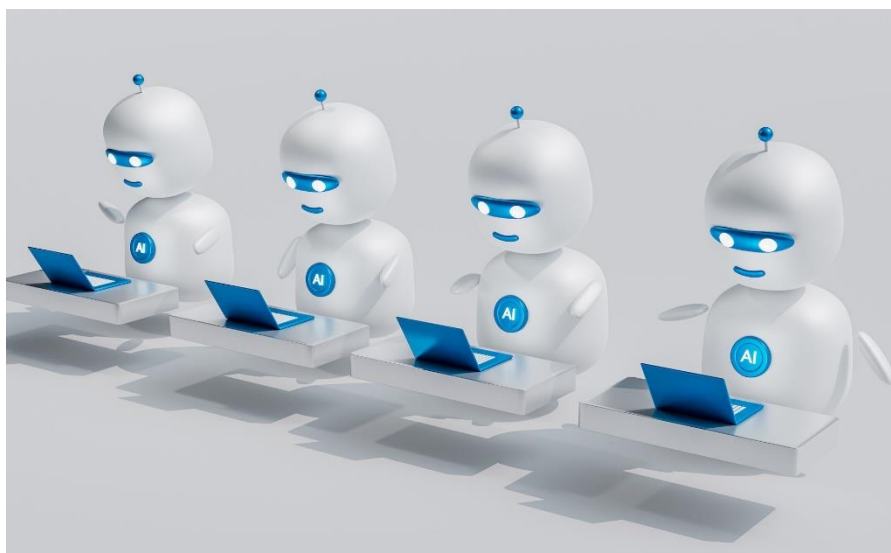
易行健氏は、ファイナンスリースは経済の質の高い発展を支える上で重要な役割を果たしていると述べました。具体的には、ファイナンスリースは柔軟な資金調達方法を企業に提供し、資金面の負担を緩和し、特に、航空機、船舶、自動車、ハイエンド製造業、革新的な活力を持つ中小企業の資金需要を満たすことができます。また、柔軟な資金調達手段を通じて、企業はより積極的に研究開発に投資し、イノベーションを促進することができ、それにより産業構造を向上させることができます。同時に、ファイナンスリースは、企業が先進的な生産設備と技術を取得することを容易にします。

「現代経済においては、技術のアップグレードと生産効率の向上は極めて重要であり、ファイナンスリースのメカニズムは『海洋牧場*』の開発をサポートするための海洋機器ファイナンスリースの開発など、企業が低コストでハイエンド機器を取得するためのより便利な方法を提供します。これは、生産性を向上させ、産業レイアウトを最適化し、国際競争力を促進するのに役立ちます」

易行健氏は、ファイナンスリースを通じて、企業は国際協力により積極的に参加することができ、企業がクロスボーダー融資を実行することを助けるだけでなく、グローバルバリューチェーンにもっと深く溶け込むことを促進し、広東省が地理的な制約を突破し、国際市場とのつながりを強化し、国際競争力を強化することに前向きな意義がある、と述べました。

*「海洋牧場」：一定の海域で大規模な漁業施設と系統的な管理システムを用いて、自然の海洋生態環境を利用し、人工的に放流された水産資源を計画的及び目的に応じて放牧する事業。

【大湾区、世界トップクラスの科学技術イノベーション・エコシステムにランクイン】



広州市南沙に本社を置く自動運転会社 **Pony.ai**（小馬智行）はこのほど、深圳市にて初の無人化実証申請許可を取得し、深圳市の中核都市エリアで一般向けに無人自動運転移動サービスを提供することが許可されました。深圳市民は、**Pony.ai** のアプリを通じてオーダーすることで、深圳前海にて無人自動運転車を呼ぶことが可能になりました。

Pony.ai は、大湾区における科学技術イノベーション革新能力が近年継続的に向上していることの縮図であるといえます。世界知的所有権機関（WIPO）が最近発表した 2023 年版「グローバル・イノベーション・インデックス」（GII）の「サイエンス&テクノロジー・クラスター」ランキングによると、深圳－香港－広

州クラスタは 4 年連続で世界 2 位にランクされました。

「企業、特にデジタル技術分野における企業は、サイエンス&テクノロジー・クラスタ内のイノベーションと科学技術活動の主な原動力である」と WIPO の中国事務所の劉華事務所主任は述べました。今年、デジタル技術は、多くのクラスタにおいて特許出願の主要な技術分野となっており、ファーウェイ、OPPO、ZTE（中興通迅）などの業界リーダーが、これらのクラスタの技術革新をリードしています。

深圳・香港・広州が世界トップクラスのクラスタにランクインした背景には、大湾区が国際的な科学技術イノベーションセンターの建設を推進し、イノベーション・エコシステム・チェーンの「基礎研究＋技術研究＋成果の転換＋科学技術金融＋人材支援」の全プロセスを継続的に改善し、地域のイノベーションシステムを継続的に最適化してきたことによります。

広州市では、地元の「産業第一、製造業を都市の柱へ」戦略を中心に、科学技術イノベーション都市としての建設を加速し、科学技術イノベーションの「変数」を質の高い発展の「増分」に促進し、「自然指数・科学研究都市」の世界ランキングは 10 位に躍り出ました。

深圳市では、誰のための革新か、誰が革新するのか、何を革新するのかについて、現地では企業が主体となり、市場の誘導により、産学研究が深く融合した技術革新システムの建築を加速し、企業の積極性、創造性を十分に刺激することで、大企業と中小企業が革新の仲で継続的に発展、成長できるようにします。

「深圳市の社会全体の研究開発投資の 94%は企業によるもので、全国第 1 位となっています。また、深圳企業の基礎投資は全国の基礎研究投資の 47.9%を占め、国全体のほぼ半分を占めています」と深圳市科学技術革新委員会の関係者は述べました。

香港では、国際的なイノベーション・テクノロジーの中心地を構築するというビジョンに向けて、香港政府は昨年「香港イノベーション・テクノロジー発展ブループリント」を発表し、科学研究インフラのアップグレード、研究開発活動への資金提供、産学研究協力の支援、科学技術人材の誘致と育成などに過去数年間

で約 2,000 億香港ドルを投資してきました。また、イノベーション・テクノロジーのエコシステムの精力的な発展を加速・強化し、主要企業の香港進出を積極的に誘致しています。

大湾区の各都市間の綿密な交流と協力は、クラスターの将来の発展に大きな可能性をもたらすでしょう。広東省科学技術部の関係者によると、広東省は現在、広東、香港、マカオ間の科学技術イノベーションのルールのコンバージョンとメカニズムの連携を深め、積極的にクロスボーダーのカネ、ヒトの往来、税金のバランス、モノの流通を促進します。

香港中文大学（深圳）前海国際事務研究所の所長であり、及び大湾区研究所の理事長である鄭永年氏は「一国二制度」の下では、異なる制度やシステムの相互作用と開放は化学反応を生み出し、大湾区は将来、基礎科学技術研究、応用技術、金融の 3 つの側面で統合的に発展するべきだと述べました。

【参考資料】

・ [広東省、国内外から大手リース企業の大湾区本部設立を積極的に誘致](#)

・ [大湾区、世界トップクラスの科学技術イノベーション・エコシステムにランクイン](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度
情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・
中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいります
ので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所

担当: 新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

=====